

何より命：平和が一番！



今年も7月7日に広島へ向かう平和行進が兵庫・川西市に来ました。日本共産党議員団も市民といっしょに「核兵器廃絶」を訴え行進しました。

平和外交を求める請願に賛成

6月議会、市民団体から「アジア地域全体の平和外交を政府に求める請願」が提出されました。

議員団は、紹介議員となり論戦しましたが、残念ながら賛成者少数で不採択となりました。

請願が提出された背景には、昨年12月に岸田政権が安保3文書を閣議決定し、今年の国会で敵基地攻撃能力の保有や5年間で43兆円の大軍拡を押し進めていることにあります。

日本共産党は、国会でも大軍拡・大増税反対の厳しい追及を行い、議員団も平和を守りたい市民の声・願いを非核平和都市宣言のまち・川西から国へ意見書提出に向け奮闘しました。

9条を大切に毎月宣伝！

議員団は、毎月9日に川西能勢口駅前「平和の宣伝」を続けています。被爆した広島と長崎に連帯し、憲法9条を守る宣伝活動に取り組んでいます。

8月は終戦の月でもあり、各公民館などでも平和展・映画会等が催されました。

戦争の準備ではなく、平和の準備・外交努力こそ政治の仕事です。



核兵器廃絶、平和の準備を！

ロシアによるウクライナ侵略は絶対に許せません。それに乘じた大軍拡や核共有等も憲法違反です。核抑止力論は、ウクライナの戦争でも破綻しています。

唯一の被爆国・日本がすべきことは、核兵器禁止条約に署名し核兵器廃絶の先頭にたつべきです。

ASEANでは、紛争を話し合いで解決する努力を続け、東南アジアを非戦争地域にしています。そして、ASEANと日本やアメリカ、中国、ロシア等8か国で「東アジアサミット」をつくらせており、これを発展させて東アジア全体を平和地域にしようとして日本共産党は提案しています。

命・くらし最優先

日本共産党議員団は、市民のくらしの願いに寄り添い、要求実現をめざし取り組んでいます。

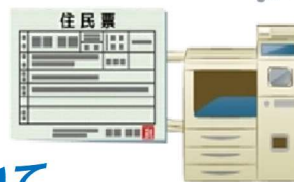
6月議会に提案された10議案の審査では、積極的に論戦するとともに反対した3議案に対しては問題点を浮き彫りにし中止や改善を求めました。



マイナンバー運用 「一旦立ち止まれ」

5月11日よりスマホ用電子証明搭載のサービスがアンドロイドの端末で始まりました。マイナンバーカードとスマホを連携させることで住民票や印鑑証明書等、個人情報の発行がコンビニで利用できるようになります。しかし、先行して実施したマイナンバーカードを使っての証明書発行で、カードの置忘れやデータ削除漏れなど個人情報の漏洩等トラブルが相次ぎ未解決の状況です。

問題が噴出するなか、スマホにおける印鑑登録証明を発行する機能を付加するべきではなく、マイナンバーカードの運用そのものを一旦中止すべきと追求しました。



キックボード規制緩和NO!

7月1日から電動キックボードのうち一定の基準に該当するものは特定小型原動機付自転車として公道走行が可能となりました。しかし、電動キックボードは、16歳以上であれば運転免許証は不要、ヘルメットも努力義務で自転車と同じ扱いになります。このような大幅な規制緩和は、事故やトラブルの増加を助長することにつながり現状より危険性が増します。

議員団は、規制緩和を中止し、不適切な電動キックボードの販売規制や違反行為の取り締まりを強化することこそ必要だと訴えています。



6月議会 賛否が分かれた議案・請願・意見書について

会派名	日本共産党			川西まほろば会				公明党				連合かわにし市民の会			日本維新の会				市民ファースト	無所属					
議案・請願	黒田みち	北野のり子	吉岡けんじ	秋田修一	松隈紀文	岡田龍太郎	加藤仁哉	西山博大	大矢根秀明	山崎孝弘	榮奈津子	大崎淳正	平岡譲	福西勝	川北将	中井成郷	岡留美	坂口美佳	内山裕介	角田模司	田中麻未	斯波康晴	加茂文子	長田拓也	
市税条例の改正する条例 (キックボード規制緩和)	×	×	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
印鑑条例の改正する条例 (マイナンバー運用拡大)	×	×	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
応急診療所を廃止する 条例	×	×	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
平和外交を政府に求める 請願	○	○	○	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○
総合医療センター病床 確保の請願	○	○	○	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
ヤングケアラー対策に 関する請願	○	○	○	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
産後ケア事業の充実 改善を求める請願	○	○	○	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
コロナワクチン接種の 効果検証を求める意見書	○	○	○	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○

※西山博大議員は議長のため議決に加っていません。

国政でも市政でも住民が主人公!!



紙の保険証なくすな!

命や人権に関わる「マイナ保険証」のトラブルが止まらない中、岸田政権は、来年の秋からの保険証廃止の方針を変えようとしません。現行の保険証が廃止されれば国民皆保険制度の崩壊につながります。

保険証廃止を速やかに断念し、マイナンバーカードのあり方そのものを見直すべきです。

【吉岡けんじ一般質問】

南部では伊丹空港から離着陸する飛行機騒音が未だに環境基準を超えており、関西万博を目前に控え騒音対策・地域の環境対策について市の考えを問いました。

また、猛暑下でも学校プールが使えるように遮光ネットなどの対策や、個人事業者など生活を壊すインボイス制度の中止を求めました。



7月からこども医療費無料化と留守家庭児童育成クラブへのランチ提供を実現。

おいしい給食と給食費無料化など要求実現に向け引き続き頑張ります。



【黒田みち一般質問】

こども達の健康診断実施後の取組み強化、成人歯科健診（個別）時の口腔ケア実施、新しい医療体制の周知と強化、「マイナンバーカード保険証」への切替えを実施しないよう国に意見を述べること。

真の待機児童解消や地域の子育て、教育、保育環境を堅持・拡充することを求めました。



がんばる議員団

6月議会 全会派一致で国へ意見書(請願)を提出!

「特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書」と、「小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」(請願)を採択しました。

市民の声を聴き、川西市議会から教育環境の充実を国へ求めました。

医療確保、市の責任堅持を! 条例廃止に反対!

議員団は、「川西市応急診療所の設置及び管理に関する条例を廃止する」議案に対し、北部地域の公的医療体制の維持を図る市の責任、根拠・規定をなくしてはならない、住民サービスが低下・後退すると厳しく指摘し、条例廃止に反対しました。

4月開院した川西リハビリテーション病院(医療法人晴風園)で行われている日祝・年末年始の休日診療(内科・午前午後診)、平日の小児科診療(月~金、午前診)が対象になります(平日の内科診療(午前診)は、晴風園の管理運営)が、条例で明文化されていた使用料・手数料が法人任せになります。その上、規則で定められていた休診日や診療時間、減免や免除規定がなくなり、公的医療の責任がなくなります。

また、本来なら4月開院に間に合うよう3月議会に提案すべきものを6月議会に提案するという「実態先行」のあり方や、開院後「発熱時に診てもらえなかった」等の訴えが続き、地域医療確保になっていない等の問題点を指摘しました。

議員団は、住民に約束してきた公的医療の確保・拡充を強く求めました。

消費税減税インボイス中止を！

消費税が導入された1989年12月24日より、各界連絡会が毎月24日に全国で消費税廃止をめざす宣伝活動を行っています。

議員団も、物価高騰対策のためにまずは消費税5%減税を求め宣伝・署名に毎月取り組んでいます。



市民のくらしと営業を守るためには、消費税5%への減税と10月からのインボイス導入は中止するべきです。

物価高騰が続く中、世界103ヶ国を超える国・地域が付加価値税（消費税）減税を行っています。また、インボイスについては、営業収入が少なくても課税業者となり納税の義務が発生、課税業者にならなければ取引がなくなる可能性があります。小規模業者やフリーランス、農家、シルバー人材センター登録者など広範な人に負担増が強いられ、地域経済が壊されかねません。

日本商工会議所も「消費税インボイス制度の導入延期を含めた対応」を求め、税理士の会、文化芸術関係者等、中止や延期を求める声が広がっています。

議員団は、免税事業者等、事業継続ができるよう消費税インボイス導入中止を強く求めています。

皆さんと一緒に活動する議員団！

103の国と地域が「付加価値税」の減税を実施



よくわかる情報を届けて

私たちは、知ることを感じたり考えたりしますが、知らされていないことも起こっています。

日本共産党は、政党助成金や企業献金を一切受け取らず、岸田政権が強行するマイナンバーカードと保険証の一体化や、防衛費の増額が一部企業のぼろ儲けや政党への献金につながっている実態も厳しく調査・追及し、「しんぶん赤旗」や「近畿民報」でテレビや大手メディアが報じない情報をお伝えしています。日本国憲法の具現化を国民目線で提案し続けています。

身近な川西のまちづくりでは、地域住民の実態から学び、その声や願いを徹底して政策にして要求実現に向けて奮闘し、「議員団ニュース」等でお知らせしています。

引き続き、皆さんと一緒に要求実現できるように粘り強く取り組みます。これからもよろしくお祈りします。

地域の声を聴き 実現まで頑張る！



編集後記

地球が沸騰していると言われる酷暑の中、巨大台風や長引く豪雨の被害が全国を襲っています。私たちは様々な工夫をしながら日常を踏ん張っていますが、光熱費の負担、物価高騰への対応を含め個々の努力だけではもう限界です。

日本共産党は、温暖化への対策やこれからのエネルギー政策など気候危機を打開するだけでなく、雇用の創設や経済対策、食料自給率の向上などを含む未来に責任、希望が持てる政策を発表、取り組んでいます。

政治の一番の責任は、国民の命を守ることに、そして人間らしく生活できる環境を整えることです。徹底して国民が主人公を貫き、党を作って101年。これからも、国や自治体の責任・役割を明確に「住民福祉の増進」に取り組んでいきます。

黒田みち

☎090-9987-7909

ブログ たんぼぼだより



検索



北野のり子

☎080-3134-0618



吉岡けんじ

☎090-1142-4778

